



学校だより

川越市立山田中学校

令和4年2月4日 発行

下手

校長 大澤由美子

自分が下手だってわかる時って
目が肥えてきた時なんですよ

本当に下手な時って
下手なのもわからない

ゆがんでいたり
間違っていたり
はみ出してても気がつかない

それに気づくのは
上達してきたからなんです

だから
下手だと思った時こそ
伸び時です

(ミステリと言う勿れ 田村由美)

校内の学年掲示板に掲示されていたものの一部です。

「自分が下手であることがわかる」「自分に力が足りないことを知る」。これは成長の第一歩です。「全くわからなかった時には見えなかったものが、少しわかってきたから見えてくる。つまり、下手であることに気づいたのは上達してきたということ」ということだと思います。そして、それが伸び時、成長のチャンスということでしょう。

では、その伸び時にどうするのか。その時の受け止め方と行動で、その人の伸びが変わります。「下手だから、どうせ自分には無理」と投げ出してしまうのか。「こんなこと、やっても意味はない」と言い訳して、何もやらないのか。今より少しでも上手になるように（できることやわかることが増えるように）、ひとつひとつ確実に積み上げる努力をするのか。上手くいかないときは気分もあがらないことが多いものですが、少しずつでも上達する喜びを感じながら粘り強く頑張ることが大切だと思っています。そして、上のステージに上がっていくと、また、新たに見えてくるものがあります。それが、成長であり、「格致日新 ～ Make us better ～」なのだと思います。